

令和8年2月19日
消防局磯子消防署

まちを守った消防服を未来へつなぐ 消防服アップサイクルプロジェクト「Re:FIRE」を始動しました！

消防士の命を守るために作られた耐久性・耐熱性に優れた消防服。役目を終えた、消防服を再活用するため、磯子消防署は「滝頭ちくちくボランティア」と協力し、消防服をバッグなどにアップサイクル※するプロジェクト「Re:FIRE（リ：ファイヤー）」を始動しました。資源循環と地域協働を実現する新たな取組として、磯子からサステナブルな未来を発信します。

また、本プロジェクトの推進にあたり、多大なご尽力をいただいたボランティアの皆様に対し、感謝と敬意をお伝えする機会として感謝状贈呈式を行います。

※アップサイクルとは、不要となった素材に新たな価値を加え、別の製品として生まれ変わらせる取組で、リサイクルが素材を分解して再利用するのに対し、アップサイクルは元の素材を活かし、価値を高める点が特徴です。

1 事業概要

磯子区内で活動する裁縫サークル「滝頭ちくちくボランティア」と協力し、廃棄予定の消防服を新たな製品にアップサイクルします。完成した製作物は、防火・防災意識の向上を目的とした啓発物品として、地域の防災イベント等で消防職員が広く配布・活用します。

2 事業発足の経緯

本プロジェクトは、滝頭ちくちくボランティアからの「廃棄される消防服を活用したい」とのご提案がきっかけで始動しました。

ボランティアの皆様の“地域の方々に役立つ作品を届けたい”という思いと、消防署が取り組むべき、環境負荷の低減・資源の有効活用という課題が一致し、両者の協働が実現しました。

3 製作物・オリジナルロゴ

エプロン、巾着袋、トートバッグなど制作物の全てにオリジナルロゴのタグが付いています。



“Re”は
「再び」「循環する」という意味
があります。
消防士の想いを未来につなぐ
という意味を込めて
Re:FIRE オリジナルロゴ
を作成しました。



オリジナルロゴ

Re:FIRE 製作物（エプロン、巾着袋、トートバッグ、鍋敷き、手帳カバー、ポシェット）

裏面あり



GREEN × EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



4 感謝状贈呈式の詳細

日時：令和8年3月2日（月）10時から10時30分まで

場所：横浜市滝頭地域ケアプラザ 1階多目的ホール（横浜市磯子区滝頭2-30-1）

受領者：滝頭ちくちくボランティア 代表 池田 好子様

贈呈者：消防局磯子消防署 署長 渡邊 浩司

感謝状贈呈式では Re:FIRE プロジェクトで製作されたグッズの展示も行います。

【滝頭ちくちくボランティア】

高齢者向けの配食弁当ボランティアを行っている方々で「自宅でできる地域貢献」を目的として令和2年に発足しました。

裁縫が好きなメンバーが集まり、地域から寄付された布を活用して、レッスンバッグや給食袋などを製作し、必要とされる施設や団体へ寄付する活動を続けています。



滝頭ちくちくボランティアの皆さん

5 地域防災イベントでの配布

令和8年2月5日（木）に磯子区で行われた地域防災イベントでは、参加した小学生への景品として、消防職員から直接手渡しで配布し、初披露を行いました。実際に手に取っていただくことで、アップサイクルの取組を身近に感じてもらう機会となりました。



Re:FIRE のトートバッグを手にする子ども達

6 感謝状贈呈式取材申込について

- (1)取材をご希望の場合は令和8年2月27日（金）17時までに下記の問合せ先までご連絡ください。
- (2)駐車スペースはございませんので、公共交通機関をご利用ください。

お問合せ先

消防局磯子消防署総務・予防課長 谷本 和夫 Tel 045-753-0119



GREEN × EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

